



えんどう ただし

遠藤 忠

職 名 教授

担当科目 教育課程論,特別活動の指導法, 教育方法学

- 研究テーマ**
1. 学校教育の国際比較
 2. 生徒指導、特別活動の研究

研究業績

著 書

- | | |
|---------|-------------------------------|
| 2012年3月 | 『中央アジアの教育とグローバリズム』(共著、東信堂) |
| 2012年6月 | 比較教育学事典(共著、東信堂) |
| 2012年7月 | 『特別活動』(共著、培風館) |
| 2018年6月 | 大学事典(共著、平凡社) |
| 2019年8月 | 三訂 キーワードで拓く新しい特別活動(共著、東洋館出版社) |
| 2021年4月 | 現代ロシアの教育改革(共著、東信堂) |

論 文

- | | |
|----------|---|
| 2012年9月 | <i>О Развитии Воспитательной Системы в Истории Современной Японской Школы : Зарождение Классного Часа Ценности Современного Образования : Международный Сборник Научных Трудов</i> : под общей редакцией М.И.Лукьяновой,Е.А.Лодатко.- Черкассы-Ульяновске:ОГБОУ ДПО Ульяновский институт повышения квалификации и переподготовки работников образования,2012. |
| 2012年10月 | 「日本近代学校教育における訓育システムについての覚書」『関東教育学会紀要』第39号 |
| 2013年4月 | 「学力向上と特別活動」『初等教育資料』No.898 |
| 2015年10月 | 「ロシア科学アカデミーの改革について」『ロシア・ユーラシアの経済と社会』No.998 |
| 2016年6月 | 「ロシア連邦における学術体制の改革」『留学生交流』2016年6月号(日本学生支援機構ウェブマガジン) |
| 2018年3月 | ロシア連邦における学術体制の改革-イノベーション・サイクルの構築を目指して- 『宇都宮共和大学シテライフ学論叢』第19号。 |
| 2018年3月 | わが国における近年の生徒指導システムの変容 『宇都宮共和大学シテライフ学論叢』第19号。 |
| 2019年3月 | 「高等学校・特別活動の可能性、問題、課題」『日本特別活動学会紀要』第27号 |
| 2019年3月 | わが国における近年の生徒指導システムの変容Ⅱ 『宇都宮共和大学シテライフ学論叢』第20号。 |
| 2019年5月 | 日本の子どもの友だち不安 『教育と医学』No.91, 2019年5月号。 |

社会的活動

- | | |
|---------|----------------------|
| 2003年8月 | 日本特別活動学会・常任理事(現在に至る) |
| 2018年4月 | 全国特別活動研究会顧問 |

略 歴

- | | |
|----------|-----------------------------|
| 1973年3月 | 教育学修士(東京教育大学) |
| 1976年3月 | 東京教育大学大学院教育学研究科博士課程単位取得満期退学 |
| 1976年4月 | 立正女子大学助手 |
| 1978年10月 | 宇都宮大学講師 |
| 1981年4月 | 宇都宮大学助教授 |
| 1992年4月 | 宇都宮大学教授 |
| 2012年3月 | 宇都宮大学定年退職 |
| 2012年4月 | 宇都宮共和大学教授(～現在に至る) |

所 属 学 会

日本教育学会、日本比較教育学会、日本カリキュラム学会、日本特別活動学会、日本生活指導学会、関東教育学会

自己アピール

学校教育の国際比較や教育課程の歴史的研究を踏まえて、日本の学校教育の達成と課題を明らかにしたい。